MITSUBISHI

三菱車載用オーディオビジュアルシステム / ナビゲーションシステム

形名

DH-MZ10 シリーズ
NR-MZ10 シリーズ

（マルチメディアディスプレイ / ナビゲーションユニット）

マルチメディアディスプレイ / ナビゲーションユニット部
取付要領書

ご注意とお願い

- 取付および接続作業の前に別冊の取扱説明書「お客さまへ安全上のご注意」をお読みください。
- 取付および接続作業は本取付要領書をよくお読みの上、正しく作業を行ってください。
- 作業終了後、お客さまへ本取付要領書をご返却ください。

機種により参照する手順が異なります。お間違いのないようご参照ください。

DH-MZ10　（マルチメディアディスプレイ単品）
同梱物：A
手順：1、2、4、5 1) 2)

DH-MZ10C （マルチメディアディスプレイ・バックカメラセットモデル）
同梱物：A、およびバックカメラ取付要領書を参照
手順：1、2、4、5 1) 2)

NR-MZ10　（マルチメディアディスプレイ・ナビゲーションユニット（ワンセグ内蔵）セットモデル）
同梱物：B、および NR-MZ10DT/NR-MZ10 シリーズ地上デジタル TV チューナー部
手順：1、2、3、4、5

NR-MZ10DT（マルチメディアディスプレイ・ナビゲーションユニット・ワンセグ対応地上デジタル TV チューナーセットモデル）
同梱物：B、および NR-MZ10DT/NR-MZ10 シリーズ地上デジタル TV チューナー部取付要領書を参照
手順：1、2、3、4、5

NR-MZ10LT（マルチメディアディスプレイ・ナビゲーションユニット（ワンセグ非内蔵）セットモデル）
同梱物：B
手順：1、2、3、4、5

三菱電機株式会社　〒100-8310　東京都千代田区丸の内 2-7-3（東京ビル）

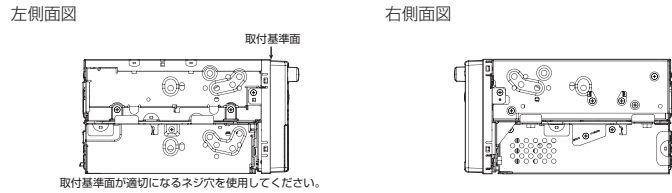
N871L67882　10-06

- 取り付けには、必ず付属のネジを正しく使用してください。

注意事項
※ 取り付け角度は、水平～ 30°の範囲で使用してください。範囲外で使用した場合、故障の原因となります。

取り付けネジ穴及び奥行寸法

左側面図

右側面図

ユニット取り付けの注意点について

- ユニット背面にはコネクターや、ファンの通風孔があるため、車両の構造や取付キットのブラケット形状によっては、ユニットが装着できない場合があります。取り付け前に、車両および取付キットを確認してください。
- パネル開口部の隙間が広く、隙間が目立つ場合は、マルチメディアディスプレイ本体に⑤、⑥クッションテープを貼り付けてください。

注意事項
市販の取付キットなどに同梱されているエスカッションパネルはモニター部分が干渉して装着できない場合があるので使用しないでください。（隙間が目立つ場合はクッションテープを貼り付けてください。）

輸送ブラケットの取り外し

- 車両へ取り付ける前に輸送ブラケットを外してください。
（外した輸送ブラケット、ネジ× 4 は使用しません。）

1 マルチメディアディスプレイの取り付けかた

マルチメディアディスプレイの場合

取り付け例

<車両側ブラケットで取り付ける場合>
- 既設の車側ブラケットを用いて取り付けます。年式、車種、グレードにより、専用取付キット（市販の取付キット）が必要な場合がありますので別途販売店にご相談ください。

<ホンダ車に取り付ける場合>
- 標準取付キット（市販の取付キット）を用いて取り付けます。

<マツダ車に取り付ける場合>
- 標準取付キット（市販の取付キット）と、⑧マツダ車用ブラケットを用いて取り付けます。
- 後面の接続ケーブルが、リアブラケットと干渉し装着しづらい場合、車両側にゴムブッシュ挿入穴が上、下段に設けられている車種については左図のようにリアブラケットを逆にし、取り付けが可能です。

マルチメディアディスプレイ・ナビゲーションユニットセットモデルの場合

取り付け例

<車両側ブラケットで取り付ける場合>
- 既設の車側ブラケットを用いて取り付けます。年式、車種、グレードにより、専用取付キット（市販の取付キット）が必要な場合がありますので別途販売店にご相談ください。

<ホンダ車に取り付ける場合>
- 標準取付キット（市販の取付キット）を用いて取り付けます。

<マツダ車に取り付ける場合>
- 標準取付キット（市販の取付キット）と、⑧マツダ車用ブラケットを用いて取り付けます。
- 後面の接続ケーブルが、リアブラケットと干渉し装着しづらい場合、車両側にゴムブッシュ挿入穴が上、下段に設けられている車種については左図のようにリアブラケットを逆にし、取り付けが可能です。

同梱物リスト

万一、内容物に不足がございましたらお買い上げの販売店にご連絡お願いいたします。
※イラストと内容物の形状が実際と異なる場合があります。

A マルチメディアディスプレイ単品

① マルチメディアディスプレイ	② 電源ケーブル（マルチメディアディスプレイ用）	③ カップスクリュー（M5 × 6）× 8	④ サラネジ（M5 × 6）× 8
⑤ クッションテープ（長）× 4	⑥ クッションテープ（短）× 2	⑦ 圧着式コネクター × 3	⑧ マツダ車用ブラケット × 2

- ●取扱説明書
- ●マルチメディアディスプレイ / ナビゲーションユニット部 取付要領書
- ●保証書
- ●サービス店リスト

B マルチメディアディスプレイ＋ナビゲーションユニット セットモデル

① マルチメディアディスプレイ（ナビ付）	② 電源ケーブル（マルチメディアディスプレイ用）	③ カップスクリュー（M5 × 6）× 8	④ サラネジ（M5 × 6）× 8
⑤ クッションテープ（長）× 4	⑥ クッションテープ（短）× 2	⑦ 圧着式コネクター × 3	⑧ 電源ケーブル（ナビゲーション用）
⑨ VICS 中継ケーブル	⑩ GPS アンテナ グランドプレート クランパー 両面テープ	⑪ マツダ車用ブラケット × 1	

- ●取扱説明書
- ●マルチメディアディスプレイ / ナビゲーションユニット部 取付要領書
- ●地上デジタルチューナー部 取付要領書（ワンセグ内蔵モデル および 地上デジタル TV チューナセットモデルのみ）
- ●保証書
- ●サービス店リスト
- ●VICS 約款
- ●地図データベース
- ●SD カード

2 車両の信号の接続

車速信号の取り出し方

<車速信号の取り出しについて>
- 車速信号は主にエンジン電子制御装置（ECU）に接続されている車速信号ケーブルから取り出します。これはエンジン電子制御装置が主に室内に取り付けられていて、車速センサー回路から直接取るよりも場所の確認等配線作業が容易に行えるためです。

<車両側車速信号ケーブルの位置は>
- 車種、年式、エンジン型式の違いにより異なります。車速信号に関するお問い合わせは、お買い上げ店または、別紙サービス相談窓口一覧表に記載の代理店にご相談ください。

注意事項
配線終了後 "接続確認のしかた（動作チェック）" をご覧になり、車速信号が確実に取り出されていることを確認してください。車速信号が取り出せない場合、本機は正常に動作しません。

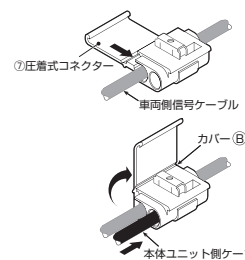
ブレーキ信号の取り出しかた

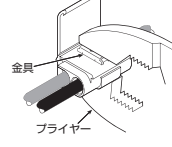
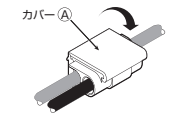
パーキングブレーキの信号線の位置は車両によって異なります。下記は代表的な例です。
詳細については、最寄りの地区別サービス店（別紙サービス店名簿をご覧ください）へご相談ください。

リバース信号の取り出し方

圧着式コネクターの使いかた

1) ～ 4) の手順で取り付けを行ってください。

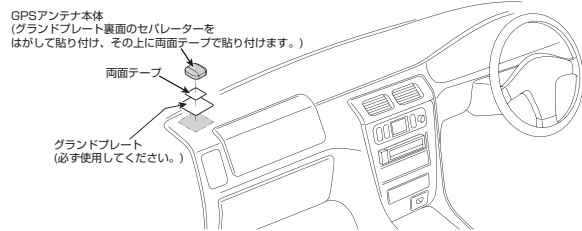
1) **車両側信号ケーブルから信号を取り出す位置を決め、⑦圧着式コネクター内に通す**

2) **カバーⒷを折り返し、指でパチンと音がするまで確実に押し込む。本体ユニット側ケーブルの先端を⑦圧着式コネクターに差し込む**
（側面に当たるまでケーブルを差し込んでください）

3) **上面の金具をプライヤーなどではさみ込み、車両側信号ケーブルと本体ユニット側ケーブルを固定する**
（ケーブルが外れないように確実に固定してください）

4) **カバーⒶを折り返し、指でパチンと音がするまで確実に押し込む**

3 GPS アンテナの取り付けかた

マルチメディアディスプレイ・ナビゲーションユニットセットモデルの場合

取り付け例

<フロントダッシュボードに取り付ける場合>

• GPS アンテナ本体はダッシュボードの中央付近を避けてフロントガラスに近い位置に取り付けてください。(ダッシュボード中央付近に GPS アンテナ本体を設置するとセンターコンソールに設置されている周辺機器からの影響で受信感度が低下することがあります。)

注意事項

※ GPS アンテナ本体を車内に取り付ける場合、必ずグランドシートを使用してください。またグランドシートを小さくする等の加工をしないでください。十分な受信感度が得られなくなります。

※ GPS アンテナ本体の設置場所は、GPS 衛星からの電波がさえぎられない場所で、なるべく平らで水平な面を選んでください。

※ GPS アンテナケーブルは、必要に応じてクランパーを使用して車両に固定してください。

※ GPS アンテナケーブルの配線はテレビやラジオのアンテナケーブルから離してください。近づけて配線すると GPS アンテナの受信感度が低下したり、テレビやラジオに妨害を与えることがあります。

※ GPS アンテナ本体は、ナビゲーションシステム本体、周辺機器及びそれらの接続ケーブルの近くに取り付けないでください。近くに取り付けると受信感度低下の原因となることがあります。

5 接続確認のしかた (動作チェック)

1) 車両への取り付け、および配線作業終了後、車両のイグニッションキーを <ACC> または <ON> にする

2) 動作チェックを行う

各設定メニューで 情報確認 → 車両信号チェック を選び各項目の動作チェックを行ってください。
(画面の見かたは付属の " 取扱説明書 " の「設定」－「本機の設定」－「情報を確認する」をご参照ください。)

3) GPS 測位を確認する

(以下の手順はナビゲーションユニットが接続されている場合に実施してください。)

ナビゲーションの NAVI メニュー → 情報・設定 → 車両位置情報 から GPS が測位していることを確認します。GPS 受信まで数分かかることがあります。(表示内容については付属の " ナビゲーション取扱説明書 " の「ナビ機能」－「各種情報を調べる」－「車両位置情報を確認する」をご参照ください。)

注意事項

各項目のチェック結果で NG となった場合は、必ず車両を安全な場所に停車し、取り付け・配線をもう一度確認してください。

4) 車速・ジャイロの初期設定 (自動) を行う

見晴らしの良い場所をしばらく一定速度で走行し、交差点で右左折を行ってください。

5) 初期設定を確認する

現在地画面で NAVI メニュー → 情報・設定 → NAVI 設定 → NAVI 補正 → センサー学習情報 を選び画面を確認します。(センサー学習情報の確認は " 取扱説明書 " の「設定」－「ナビの設定」－「システム補正」をご参照ください。)

※手順 5) で車速パルス数の表示が「 - - - - - 」の時は、初期設定が完了していないか車速度信号の取り出しが正常でない場合が考えられますので、接続を確認した後、手順 4) ～ 5) を繰り返してください。

注意事項

※ 初期設定中は、自車位置マークが正しく動かないときがあります。

※ 車種・年式・エンジン型式により車速パルス数が異なりますので、ナビゲーションユニット本体を別の車両に積み変えた直後は実際の移動距離と異なることがあります。また、タイヤを交換された場合も同様です。

自車位置精度と自動補正について

• 自車位置精度は上記 " 接続確認のしかた " による初期設定完了後、GPS の受信状態の良いときに直線道を一定速度で走行しますと車速自動補正が働き、交差点で右左折を繰り返すことでジャイロの自動補正が働きます。車速とジャイロの自動補正が働くことで自車位置精度が徐々に向上していきます。
(自車位置精度が安定するまで、場合によっては数時間の走行が必要な場合があります。見晴らしの良い高速道路のような場所を走行しますと自動補正が働き易くなります。)

4 各ハーネスの接続

1) ⑨ VICS 中継ケーブルを接続する

2) ワンセグ接続ケーブルを接続する (ワンセグ内蔵の場合)

3) 残りのケーブルを接続する

B
NR-MZ10系
(NR-MZ10DT/NR-MZ10地上デジタルTVチューナーの取り付けについては別紙の地上デジタルTVチューナー取付要領書をご参照ください。)
別売
iPod/USB接続ケーブル LE-61AV-2FM
USB 映像(黄)
専用バックカメラ (BC-20)※1
汎用カメラ接続ケーブル (LE-81FF-2SS)
車両側AM/FM用アンテナプラグ
⑨VICS中継ケーブル
突起にVICS中継ケーブルを引っ掛けます。
②電源ケーブル(マルチメディアディスプレイ用)
⑧電源ケーブル(ナビゲーション用)
GPSアンテナ
●他の機器の接続時に使用します
●バッテリー電源端子
ヒューズ5A
(黄)
●アース端子(GND)
車両の金属部にネジ止めします。
(黒)
車両側スピーカー
フロント左 (白) (白／黒)
フロント右 (灰) (灰／黒)
リア左 (緑) (緑／黒)
リア右 (紫) (紫／黒)
●車速信号端子
車速信号ケーブルに接続します。
付属 圧着式コネクター (桃)
●リバース信号端子(BACK)
車両側リバース信号線に接続します。 (紫／白)
●パーキングブレーキ信号端子
(PARKING BRAKE)
車両側パーキングブレーキ信号線に接続します。 (若草)
●アンテナ電源端子
パワーアンテナ駆動用の電源を供給します。
(パワーアンテナ設定でON／OFFの選択ができます) (青)
●照明電源端子
ライトスイッチをONにすると電源が供給される端子に接続します。 (橙)
●他の機器の接続時に使用します。
●アクセサリー電源端子
イグニッションキーをACCの位置にすると電源が供給される端子に接続します。 (赤)
●バッテリー電源端子
イグニッションキーを切っても常時電源が供給される車両のヒューズユニットを通した後の端子に接続します。
ヒューズ15A (黄)
●アース端子(GND)
車両の金属部にネジ止めします。 (黒)

※1 DH-MZ10Cは専用バックカメラ(BC-20)を同梱しています。

コネクターの脱着について

各コネクター接続時は確実に奥まで差し込んでください。また取り外す際には、矢印の部分を押しながらコネクターを引き抜いてください。

電源ケーブル
(マルチメディアディスプレイ)

電源ケーブル（ナビ）

電源/専用BUSケーブル

GPSアンテナ用コネクター

VICS中継ケーブル